

磐田市ボクシング協会

【組織】

1. 協会の概要

磐田市ボクシング協会は、平成14年4月に設立し平成15年正式に町体育協会に加盟した。設立当初は練習場所が無く竜洋中学校体育館にサンドバッグ1個をバスケットゴールに吊るし、ミット、シャドー、ロープ、ディフェンスorオフェンスを中心とする週2回の練習を軸に開始した。平成17年4月に磐南5市町村合併に伴い、市体育協会に正式に磐田市アマチュアボクシング協会として加盟した。後に平成25年4月に競技中央団体である日本アマチュアボクシング連盟が日本ボクシング連盟と改称した為、我々の団体名称もアマチュアを取り除き磐田市ボクシング協会に名称変更した。

現在は、ボクシングの普及発展、そして、選手育成、成人のトータル的な健康と体力増進、青少年健全育成を目的に市内関係各位様のご理解、ご協力を賜り普及発展に取り組んでいます。

2. 役員の紹介

会長	佐藤 文俊
理事	山田 隆史
理事	密岡 昌紀
理事	鈴木 康文
理事	佐藤 理香
委員	伊藤 敏宏
委員	松本 昌三
委員	三好 海大
委員	原田 裕矢
委員	舟澤 宣宏
顧問	若干名

3. 競技の魅力

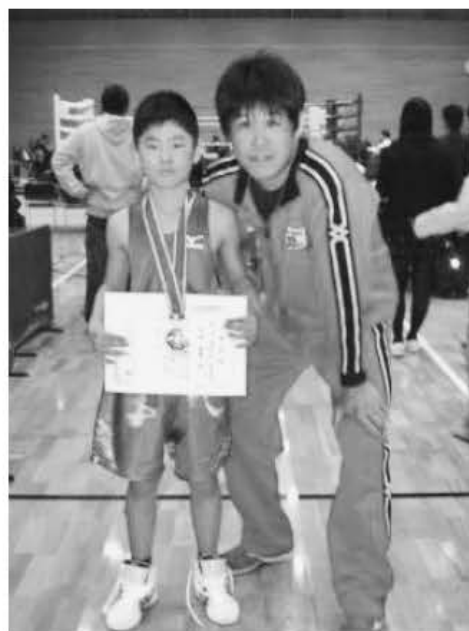
ボクシングは、古代ローマ時代から行われオリンピック競技の中では、最古の競技と聞いております。左右の拳で腰上から顔を殴り、ウエイトを伴ったパンチを当て、ポイントを取ったり、相手を倒したりと、簡単に表現をすると、相手にどれだけのダメージを負わせたかを競い合うスポーツである。また腰上から頭部までの後部は殴ってはいけないルールです。プロとアマチュアでは、根本的に相手が倒れた時のスコアの配点が違うのが特徴的である。我々の団体が行っているのは、アマチュアボクシングであります。年々、I O C加盟団体である国際ボクシング協会(A I B A)でルール変更があり、そのルール変更に合わせて練習方法、作戦を練らなければならない事があります。現在のルールは、リオオリンピックからプロ選手の出場が解禁になった為かプロボクシングに近いルールとなっております。但し、日本はプロ選手、又は元プロ選手のオリンピック出場を現在認めてません。

ボクシングの魅力は、相手にダメージを与えたり、パンチを外したり、フットワークを使いながらパンチを当て相手のパンチを外すアウトボクシングや、打ち合いをする為相手に近づきガンガン前に入るインファイトボクシング、前述したボクシングを両方使えるボクサーファイタータイプ等、高度の技術、気、体力を使い勝敗を決するスポーツであります。また、簡単に記載しましたが、まだまだ、この文章で言い表す事ができない奥深い競技であります。この様な試合を観戦するのもスリルがあり、見応えのあるものだと思います。



4. 優秀選手の輩出

- 平成17年 岡山国体第3位 薩川知成
- 平成21年 全国アンダージュニア選手権大会
準優勝 川井勇利
- 平成23年 全国アンダージュニア選手権大会
準優勝 川井道夢
- 平成24年 全国アンダージュニア選手権大会
優勝 川井道夢
- 平成25年 アジアジュニア選手権大会
(カザフスタン共和国)
銅メダル 川井勇利
- 平成25年 全国アンダージュニア選手権大会
準優勝 牧野蓮



5. 今後の展開と課題

ボクシングを通じて、選手育成、成人のトータルの健康と体力増進、青少年健全育成を骨格に活動をしていきたいと考えております。特に時代の流れが少子高齢化社会が更に進んでいく見通しとなっておりマイナー競技であるボクシング競技において良い素質や能力を持った選手の発掘、そして出会いをどの様にしていくかのビジョンを模索して行かなければならないと考えています。

